

# しまだ議会だより

Shimada City Council Newsletter

平成29年9月定例会の内容をお届けします。

2017  
No. 61

平成29年11月15日発行



特集

島田フューチャー  
センター  
と  
市議会

# 特集

## 島田フューチャーセンターと市議会

### ◆ サミット参加高校 ◆

静岡県	島田商業高等学校
茨城県	石岡商業高等学校
茨城県	竜ヶ崎第二高等学校
茨城県	坂東市高校生活活性化倶楽部
長野県	飯山高等学校
福井県	鯖江市役所JK課
福井県	丹南高等学校
愛知県	豊橋市役所JK広報室
宮崎県	都城商業高等学校



島田フューチャーセンターの島商生の皆さん

### 島田フューチャーセンターとは

島田市の地域課題について話し合う場を企画・運営する島田商業高校が主催する団体。

## 島田の魅力を再発見！

## 情報通信技術（ICT）を用いて全国に発信します

島田フューチャーセンターがホストとなつて、8月25日から3日間、第2回全国高校生サミットinしまだ『まちづくり×ICT』が開催されました。

このイベントは、地域の将来を担う高校生が、地域の魅力を自分たちで再確認し、全国に発信する取り組みです。今回、柔軟な発想とICTの活用で地域の未来を考える高校生の皆さんにお話を伺いました。

### 《サミットに参加してどうでしたか。》

- ・今回参加してワークショップで得たもので自分の市を良くしていきたいです。
- ・初めて会ったメンバーと仲良くなれてうれしく名残惜しいです。
- ・自分の地域に帰って地域活性化ができればと思います。
- ・今回勉強したことが生かされればいいなと思いました。

### 《島田市内を見て歩いた感想は？》

- ・参加したみんなといるいるな話ができ、身のためになりました。
- ・三日間充実していて、まさか最優秀賞を取れるとは思っていなかったのうれしかったです。
- ・島田市内を歩いて歩いた感想は？
- ・島田にしながら島田のことをよく知らないくて、どこに行けば楽しいのか解らない状態でした。金谷に行きトーマスを見て



感動し、身近にいいものがあることを再確認できました。

- ・ 今回の参加で、島田に住みたくなりました。
- ・ 初めて来た場所でしたが、きれいな街並みや自然がいっぱいでした。
- ・ 初めて来た場所でしたが、みんな優しく接してくれて、島田の魅力を感じることができました。これからも参加できればと思います。

短い時間の中で、参加した高校生が島田のいいところを発見し、15秒の画像に作成することができました。その間に、仲間づくりや自分たちが作った15秒のPR動画を外に向かって情報発信する技術も習得できました。このイベントを通して学んだことを各高校においても情報発信していただき、今後も地域社会に参画していただきたいと思います。

ワークショップで作成した島田市のPR動画をご覧ください。

※QRコードを読み取るかURLから高校生の作品をご覧ください。



URL <https://jimoful.com/event/detail/5>

# 定例会 の 概要

## 平成28年度一般会計決算の認定および 平成29年度補正予算可決

平成29年第3回定例会が、9月1日(金)から29日(金)まで、29日間の会期で開催されました。

### 9月1日(金) 本会議初日 13議案上程

議会閉会中における常任委員会の審査・調査報告が総務生活・厚生教育・経済建設の委員長から行われました。また、市営土地改良事業の条例の一部改正の専決処分報告1件、一般会計決算など認定11件、一般会計補正予算など13件が上程され、1人の議員が諸般の報告に対する質疑を行いました。

**9月11日(月)～13日(水) 一般質問 議員18人が登壇**  
18人の議員が、一問一答による一般質問を行いました。

(11～20ページ)

**9月14日(木) 議案質疑 議員5人が登壇**  
5人の議員が、議案について質問しました。

(5～7ページ)

PickUpと「トピック」に注目！へ

### 9月15日(金)～20日(水) 常任委員会の議案審査

厚生教育・経済建設・総務生活の各常任委員会において、それぞれ1日ずつ分散開催し、付託された議案審査を行いました。各常任委員会では本会議に上程された11件の決算認定、13件の議案の審査を行いました。

(8～10ページ)

### 9月29日(金) 本会議最終日 追加議案上程 31議案可決

3常任委員会での審査内容と結果について各委員長が報告しました。

延べ4人の議員が賛成・反対の討論を行いました。採決の結果、25議案は全員賛成、2議案は賛成多数によりそれぞれ認定・可決されました。

市長専決処分による報告3件、一般議案1件、諮問2件の計6件が上程され、委員会での審査は省略して採決し、可決・適当とされました。

(21ページ)

さらに意見書1件を採択し、国会などに送付しました。

(20ページ)

〈認定第1号 平成28年度島田市一般会計決算の認定について〉

## Pick up 1 かわね保育園の 民営化に係る協議状況は？

**Q** 民営化に係る詳細協議が7回行われているが、保護者の疑問や不安にどう対応したか。

**A** 当面は公立のかわね保育園の保育方法や行事を引き継ぐことを基本とした。

**Q** 詳細協議の中で、一番問題になったことは何か。

**A** 保育士や職員がどのくらい残ってくれるかを一番心配していた。

〈認定第1号 平成28年度島田市一般会計決算の認定について〉

## Pick up 2 島田市緑茶化計画 推進事業の成果は何か？

**Q** 自主財源は幾ら使ったか？

**A** 約1970万円で、全額国の地方創生加速化交付金を充当した。

**Q** プロモーション動画事業やコンセプトブックの配布、テストマーケティング事業の成果は。

**A** ホームページやフェイスブック、YouTubeで紹介し、テレビCMの放映や映画館CMを上映して島田市の情報発信をしている。メディアに取り上げられることで島田市緑茶化計画がクローズアップされ成果があったものと考えている。

**Q** 島田市緑茶化計画は何をもって成果とするか？

**A** 島田市の魅力度、認知度の向上であると考える。

〈認定第7号 平成28年度島田市介護保険事業特別会計決算の認定について〉

## Pick up 3 介護保険給付費が 減った理由は？

**Q** 介護保険の保険給付費が減少している理由は何か。

**A** 要支援認定が必要であった介護予防訪問介護と通所介護が、認定の必要でない総合事業訪問介護と通所介護に移行した。

そのため、介護予防を目的とする訪問介護と通所介護が必要な人は認定を受ける必要がなくなり要支援、要介護認定者数は大幅に減少した。

〈議案第77号 島田市一般会計補正予算（第2号）〉

## Pick up 4 オリンピック・パラリンピック 合宿誘致は進んでいるか？

**Q** ボクシング競技の事前合宿開催に向けた協議の経過は。

**A** モンゴル国ボクシング協会と協議を行い、2020年東京オリンピックまで毎年1回島田市で合宿を行うことを決定した。

**Q** 他の国との合宿誘致交渉は進んでいるか。

**A** シンガポールの卓球チームについて条件面の協議をしている。

**Q** 会場についてはどうか。

**A** モンゴル国のボクシングチームについてはサブアリーナを、シンガポールの卓球チームについてはメインアリーナを考えている。



# 平成28年度 島田市 各会計決算を認定

## 皆さんの税金はこのように使われました。

### 一般会計歳出額（使ったお金）

352億9,824万円

### 歳出額（公営企業会計を除く）

567億8,710万円

前年度の「税金の使い道（決算）」に関して、9月定例会において市長は市監査委員と市議会のチェック（審査）を受けなければなりません。

平成28年度の島田市決算が市長から示されたので、9月15日、19日、20日の3日間に開催された3つの常任委員会で決算の審査を行い、「認定すべき」と決しました。（P6. 7）さらに、29日の本会議最終日において決算を認定しました。

その一部を紹介します。

## 平成28年度 島田市の各会計決算（公営企業会計を除く）

	歳入（市の収入）	歳出（市の支出）
一般会計	372億 532万円	352億9,824万円
特別会計		
国民健康保険事業	115億5,990万円	113億1,767万円
簡易水道事業	1億7,860万円	1億7,069万円
土地取得事業	6億2,002万円	6億2,002万円
休日急患診療事業	2,259万円	1,303万円
公共下水道事業	7億7,240万円	7億5,685万円
介護保険事業	75億6,535万円	74億7,876万円
介護サービス事業	7,131万円	6,066万円
後期高齢者医療事業	10億7,315万円	10億7,114万円

### 公営企業会計（支出のみ）

	平成28年度末の残高	平成27年度末と比較
市債	410億2,732万円	425億9,871万円
基金	130億1,645万円	125億 771万円

島田市（一般会計）は、市債（借金）残高が減り、基金（貯金）が増えています。

公営企業会計（支出のみ）	
水道事業会計	15億2,244万円
うち、収益的支出	9億7,388万円
資本的支出	5億4,656万円
病院事業会計	151億 919万円
うち、収益的支出	131億1,299万円
資本的支出	19億9,620万円

## 総務費

44億2,859万円

自治会活動支援事業	3,208万円
市民会館解体事業	2億 270万円
バス交通対策費	2億4,071万円



## 民生費

115億8,763万円

高齢者生きがい活動支援事業	8,188万円
放課後児童健全育成事業	1億2,108万円
生活保護扶助費	5億1,911万円



## 衛生費

37億6,443万円

病院事業会計繰出金	10億9,531万円
ガス化溶融施設管理運営経費	7億5,211万円
クリーンセンター管理運営事業	1億 473万円



## 農林業費

9億5,750万円

農業振興事業	3,204万円
茶業振興事業	2,584万円
林業振興事業	7,183万円



## 商工費

6億9,149万円

産業支援センター運営事業	334万円
パラグライダーパーク整備事業	295万円
川根温泉メタンガス利活用事業	1億7,453万円



## 土木費

36億4,428万円

東町御請線整備事業	6億4,973万円
島田金谷IC周辺地区開発事業	5,008万円
木造住宅耐震補強助成事業	4,256万円



## 消防費

15億7,402万円

消防団活動事業	6,027万円
消防自動車更新事業	3,657万円
自主防災組織育成事業	1,221万円

## 教育費

37億1,610万円

就学援助事業（小・中学校）	4,798万円
文化財保存事業	1億 236万円
社会体育施設運営事業	1億7,276万円



## その他

49億3,414万円

議会費	2億 900万円
労働費	3,479万円
災害復旧費	2,094万円
公債費	46億5,904万円
諸支出金	1,037万円

※各欄の金額について、端数処理（千円以下切り捨て）をしています。

# 常任委員会報告

島田市議会には3つの常任委員会があります。議員は必ずいずれかの委員会に属し議案審査に当たります。9月定例会の議案審査の概要は次のとおりです。

## 厚生教育常任委員会

### 田代の郷整備事業費の増額は慎重に！

#### 平成29年度 一般会計補正予算

##### ● 田代の郷整備事業

**Q** 年間利用者予想数8万人の根拠は何か。

**A** 掛川市にある22世紀の丘公園の平成27年度の入場者のうち、遊びの里にいられた方の人数を参考に算出している。

**Q** 当初の事業費案から4億8000万円に増額となった理由は何か。

**A** 駐車場の拡張やスポーツエリアと憩いの芝生エリアの施設の計画を追加したことによる増額である。

**Q** 2月の定例会前に事業費4億8000万円ではなく、当初示された3億円で整備した場合の第3の案を示すことは可能か。

**A** 市民アンケートによる意見やワークショップ等、市民からいただいた意見をそのまま反映したところ、見積金額が5億7000万円になってしまったため、工夫して、4億8000万円という金額に収めた。3億円で収める整備にすべきということだが、そうになると、市民アンケートによる意見やワークショップでの意見にかなり制約を受けると思われる。制約を受けたいものを基に整備を進めることは、中途半端な施設や、魅力的ではない施設になる可能性が懸念される。

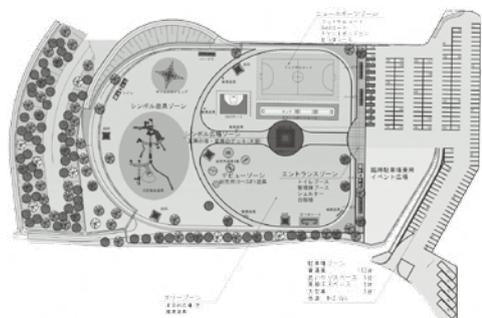
**Q** 最終的に議会で整備計画を審査するに当たり、当初予算に盛り込まれた状況で賛否を問われると、当初予算全体に影響する可能性がある。そのような状況に陥らないために、事前に変更が効く状態で、整備内容について議会で協議することは可能か。

**A** 可能である。

#### 平成28年度 病院事業会計決算認定

**Q** 収支が約1億4000万円の損失となっているが原因は何か。

**A** 放射線医師と診療科の医師が不在となったことによる医療報酬の加算減、非常勤医師臨時雇用による経費増が原因である。



田代の郷のイメージ図

# オリンピック合宿誘致に 大きな経済波及効果を期待

## 平成29年度 一般会計補正予算

### ●茶業振興事業

**Q** オーガニックジャパンとはどんな会社か。

**A** 需要拡大が見込まれる抹茶の原料になる碾茶を栽培する若手農業者5人で設立した会社。

### ●オリンピック・パラリンピック合宿誘致経費

**Q** オリンピックに関わる経費はどのくらいを見込んでいるか。

**A** 今回モンゴルのボクシングチームが11月3日から13日まで合宿する。経費は約430万円で、2分の1が交付税措置となる。



整備が進まないアピタ前交差点

### ●社会資本整備総合交付金事業

**Q** 道路新設改良費で国庫支出金等が減額されている。中止や延期になるのか。

**A** 要望額に対し56パーセントの内示率になり、幾つかの道路改良事業は来年度に見送りとなる。

## 平成28年度 一般会計決算認定

### ●雇用促進・就労支援事業

**Q** 若者の離職率が高い実態に対し、市としてどのような対応をしているか。

**A** 雇用のミスマッチをなくするために、内定者と経営者との間で理解を深める取り組みをしていきたいと考える。

### ●道路施設管理事業

**Q** 道路の草刈りの予定を島田市ホームページでお知らせできないか。

**A** その方向で検討する。

### ●遊休農地対策事業

**Q** 荒廃茶園対策を来年度以降どう考えているか。

**A** やる気のある方に改植や他作物への転作など付加価値を向上させるといふことで推進したい。

### ●川根温泉管理運営事業

**Q** 問題点や課題は何かあるか。

**A** ふれあいコテージ4人棟に半露天風呂を取り付けて稼働率向上につなげたい。



半露天風呂が付く4人棟

### ●温泉施設費寄附金

**Q** 内訳はどうか。

**A** 川根温泉から1800万円、川根温泉ホテルから538万7000円、合計2338万7000円である。

# 島田市緑茶化計画、徐々に広がる

## 平成29年度 一般会計補正予算

●シティブロモーション  
推進事業

Q 島田市緑茶化計画のロゴ  
マークの補助金の申請数  
および補助額の現状は。

A 平成28年度が51件の19  
7万円。今年度が49件の  
183万1000円であ  
る。

●移住定住促進事業

Q 移住定住の現状と今回の  
補正での予測は。

A 6世帯19人が移住し、そ  
のうち5世帯に300万  
円を支給している。現在  
も5件相談を受けており、  
今後さらに増えると想定  
している。

●光ファイバ網整備事業

Q 光ファイバ網整備事業で

A 合併特例債から過疎債へ  
の財源の組み換えがある。  
辺地債は検討したか。  
今回整備できなかった地  
域で今後考えていきたい。

## 平成28年度 一般会計決算認定

●広報費

Q 島田市緑茶化計画のコン  
セプトブックの市民への  
浸透はどの程度か。アン  
ケート等は実施しないか。

A 各種イベント等で緑茶化  
計画をPRする場を設け  
て、可能であれば実施し  
ていきたい。

●協働推進費

Q 市民活動室の登録された  
86団体の種別と稼働率は  
どうなっているか。

A 学術・文化・芸術・ス  
ポーツ振興・まちづくり

の推進等であり、稼働率  
は37パーセントである。

●人事管理費

Q 公務災害防止のためにド  
ライブレコーダーが有効  
である。導入実績は。

A 公用車に6台。本年度ハ  
ス2台に予算措置されて  
いる。今後も、極力整備  
を進めたい。



公用車にドライブレコーダー設置

●戸籍住民基本台帳費

Q 証明書のコンビニ交付の  
実績は。

A 平成28年度は3カ月であ  
るが、251件である。単  
純計算で1件あたり1万  
836円の経費となる。

●交通安全指導費

Q 島田駅の南北駐輪場は有  
料だが、六合駅と金谷駅  
の駐輪場が無料なのはな  
ぜか。

A 金谷駅と六合駅は施設が  
なく、野ざらしであるた  
め料金を取る状況にない。

●歳入

Q 一般寄付金3000万円  
の内容は。

A サンエムパッケージ株式  
会社から創業50周年記念  
事業として市の行政全般  
に役立ててほしいと寄付  
をいただいた。

Q 南相馬市への職員の派遣  
はいつまで続けるか。

A 協議中ではあるが、今年  
度までと考えている。

市長に質す！  
ただ

# 一般質問

## Q&A

市の方針や市民の皆さんの生活に関する大切な内容全般について、市議会議員が市長や執行機関に「一般質問」を行います。

島田市議会9月定例会では、18人の議員が個人質問を実施しました。全議員が一問一答方式（議員が一つの質問をし、市長等も一つずつ答弁する方式）を選択し、50分間の制限時間の中で質問を行いました。

今号では、18人の議員の個人質問の内容の一部を紹介します。興味を持った質問はありますか？

一般質問全文を掲載した会議録と録画映像は、ホームページに掲載しています。  
録画映像はパソコンのほか、スマートフォンやタブレットでも見ることができます。

このQRコードからどうぞ！



## 発災後の

### トイレ使用の総点検！



むらた ちくこ 議員  
村田千鶴子 議員

**Q** 市として、自主防災会と同様に各世帯への簡易・携帯トイレ（4人家族の場合一日5回、一週間140個必要。衛生面から消臭剤付き）の購入費助成の考えは、

**A** 基本は各世帯で行う。自主防での準備には、しっかり補助する。

**Q** 実用性のある洋式仮設トイレを。洋式に替えている。高齢者・子ども・障がいのある方は、避難所のすぐ近くにテントを張りその中に簡易トイレを置いて使用。

**Q** 発災後に出る汚物は衛生面から、別の指定場所にすべきでは。

**A** 緊急時は黒ビニール袋でも可能で、一般の紙おむつと同様の燃えるごみの中で柔軟に対応する。浄化槽の状況確認チェックシート配布の取り組みの考えは。

**A** ぜひ整備したい。防災ガイドブックの改定時にトイレのことを織り込み、広報していきたい。

### 有効な空き家対策を

**Q** 子育て世代をターゲットに始めた中古住宅購入奨励金事業の対象者を拡充できないか。

**A** 定住促進、空き家利活用の観点から、購入層の動向を見て検討。

**Q** 倒壊など深刻な特定空き家となるのを防ぐため、地元不動産会社に見守り活動をしてもらう一方、売買成立等で報奨金を支払う先進事例の取り組みの考えは。

**A** 空き家対策事業の一つとして、取り組むことができるか検討。



今年の総合防災訓練にて初のし尿処理訓練

## 学校教育現場の

### 多忙解消を！



ふじもとよしお 藤本善男 議員

**Q** 一カ月の残業が80時間を超える教職員の割合は。

**A** 大規模校の調査では、小学校で27・6パーセント、中学校では42・8パーセントである。

**Q** 教職員の多忙化解消策は。

**A** 教育支援員・図書館支援員などの増員、部活動指導員等との連携、研修会の3割減などである。

**Q** 部活動に対する市の対応は。

**A** 部活動支援員14人、外部指導者14人に加え、来年度は部活動支援員を7人増としたい。

**Q** 多忙化への教育会議の対応は。

**A** 学校評議員にコーディネーターを各校1人入れるようにした。

**Q** 人的な問題以外にも、例えば金

谷小学校では体育館の雨漏りに悩んでいる。多忙化解消のため、施設修繕の対応を考えているか。

**A** 構造上の難しい点もあるが、金谷小学校体育館は来年度調査に入り、場合によっては本格的な修繕工事も想定している。



利用者数減少が課題のコミュニティバス

### コミバス利用者が大幅減

**Q** これまで37万人が利用していたコミバスは昨年25万6000人と大きく減少した。理由は何か。

**A** 主要路線での減便、時刻等が利用者ニーズに合わなかった。

**Q** 伊久身地区の自主運行バスの検討は安易に試行路線廃止とせず、

粘り強く関わってほしい。

**A** 地域の皆さんと共に考えていく姿勢で検討していく。

## これからの

### 公共施設の方向性



よこたがわまさと 横田川真人 議員

**Q** 第二次島田市総合計画では、病院・新東名島田金谷インター

チェンジ周辺整備・市役所周辺整備・田代の郷整備が予定されている。公共施設マネジメントとの整合性はどうか。

**A** 現総合計画でもその事業のことは明記してある。

**Q** 「整備を進める」などの方向性だけで、具体的な事業費や文言がない。現在の公共施設マネジメントの中には反映されていない。更新する予定はあるか。

**A** 公共施設白書は平成26年に作った。平成28年度末のデータで更新できればベストである。

**Q** 今後の維持管理経費はどの程度に抑えるのが理想か。

**A** 32億2000万円に抑えたい。

**Q** 解体費は含まれているか。

**A** 含まれていない。

**Q** 統廃合について基準はあるか。

**A** 文化、伝統、地勢的な問題をクリアすることである。

**Q** 公共施設等総合管理計画ができて1年である。さらに進んだ具体的な計画の予定はあるか。

**A** 今年度をめどに作っていききたい。個別の施設計画も考えている。

**Q** 維持管理等の経費が32億2000万円に収まらない場合、最終的にどこを削るかは市長の政治判断だと思うがどうか。

**A** 市の公共施設は大変多い。これまでのプロセスを踏まえて総合的に判断していく。



それぞれの計画の整合性が求められる

## 島田市の産業発展に必要なこと！



すぎの なおき 杉野直樹 議員

**Q** これまで産業活性化のための調査研究を市独自で実施したことはあるか。

**A** 産業の活性化のために独自で研究を実施したことはない。

**Q** 産業の活性化には独自性と先進性が必要である。そのためには調査・研究能力が高くなってはならない。しかし、現在の産業支援センター「おびサポ」の環境では人員数から見ても困難である。そこで提案として、例えば研究機関である大学や大学院、また学会等と共同して、もっと深掘りした調査・研究をしてみようか。

**A** 大学の高度な知識やスキルを活用して調査・研究することには大変興味がある。

### 指定管理者制度の見直し

**Q** 指定管理者制度のメリット、デメリットは何か。

**A** メリットは運営に民間のノウハウ



島田球場を民間活力で活性化しよう

ウが活用できることやサービスの向上、経費の削減である。デメリットは長期的な展望に立った経営、ノウハウの蓄積、継続が難しいことである。

**Q** 指定管理者募集の条件に、社会的な弱者に対して仕事を優先して委託発注するような条件を追加することは可能か。

**A** 市内発注への配慮は現在お願いしている。弱者保護については検討していきたい。

## 地域づくりは既存組織の活用が重要



おおいせつ お 大石節雄 議員

**Q** 合併後の地域づくりは、既存組織の活用が重要ではないか。

**A** 自治会を中心に環境の保全、美化活動、防犯・防災活動、福祉活動、福利厚生活動が行われている。また老人クラブや女性・青年組織なども地域づくりの重要な担い手である。今後も協力いただくことは重要である。

**Q** 合併による行政の効率化の反面、地域に対してよりきめ細やかな配慮が必要ではないか。

**A** そういった対応は必要である。まずは各支所の機能がそれに当たるものだと思う。地元と密着した取り組みを行い、住民の自主性を大切にして行政とキャッチボールしながら進めていく必要がある。

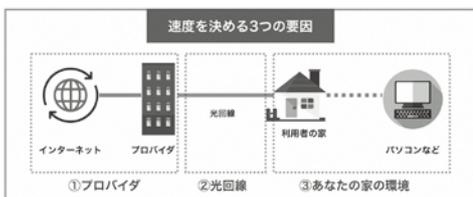
**Q** 特に次世代を担う若者の考えを把握する必要があるのでは。

**A** 積極的に活動している青年に対して、各担当部署だけではなく市長自身も直接話をして、要望に対しての協力を考えたい。

### 光ファイバー網の今後は

**Q** 今年度で事業実施できない地域の対応はどうか。

**A** 今年度、光ファイバー網整備事業で整備ができない笹間地区、伊久身地区の一部については、引き続き市から事業者へ提案を求め、平成30年度整備を目指して必要な支援をしていく。



光回線の仕組み

## 防災対策の拡充を目指して



おおぞききよよ 大関衣世 議員

**Q** 耐震補強工事の状況はどうか。

**A** 平成28年度の実績は56件である。熊本地震以後、要望者が増加の傾向にある。

**Q** 制度の見直しはあるか。

**A** 県の上乗せ補助（15万円）は来年度以後は無いが、市の上乗せ補助（10万円）は来年度も継続していきたい。

**Q** 家具転倒防止事業の利用状況はどうか。

**A** 平成28年度実績は17件である。

**Q** 近隣市と比較してどうか。

**A** 近隣市は全世帯が対象なので、利用率が高いと考える。推進の必要があると考えている。

**Q** 市も段階的に対象を広げてはどうか。

**A** 平成31年度の制度改正の時期を踏まえ見直しを考える。

**Q** 感震ブリーカー取り付けの補助制度を考えているか。

**A** 考えはある。財政事情等を考慮し、範囲と開始時期を決めていきたい。



耐震化は防災の第一歩

## 成年後見制度の活用を

**Q** 成年後見制度の申立て状況はどうか。

**A** 高齢化とともに年々需要が増えている。

**Q** 専門職を配置し、支援センターを整備する必要があると考える。

**A** 社会福祉協議会と担当課で協議し進めていく。

## 子育て世代の

## 可処分所得は



さいとうかずと 齊藤和人 議員

**Q** 島田市の20代から50代の人口と国民健康保険（国保）の被保険者の数は。

**A** 20～50代の人口は4万5684人。国保被保険者は、6883人である。

**Q** 会社員と個人事業主（自営業者）の可処分所得は。

**A** 40代夫婦と小学生2人の4人家族で、給与収入400万円の会社員と国保に加入している所得400万円の自営業者では年間約50万円会社員の方が多い。

**Q** 国保で賄われている医療費は。

**A** 一人当たりの医療費の平均は40代18万円、60代17万円、70代11万6000円である。

**Q** 国保で賄われている医療費は。

**A** 一人当たりの医療費の平均は40代18万円、60代37万8000円、70代49万7000円である。

**Q** なりわいとしてきた家業を継いでいく若者を後押しする施策の実施を。

**A** 提言を心に受け止めて市政運営に当たっていく。

## 国保事業の現状は

**Q** 平成29年度国保事業特別会計予算は110億1027万円で、その収入のうち国保税は21億9648万円で約20パーセントの税負担である。その他は、国庫負担金・県負担金などで賄われている。国保課税額は。

**A** 国保課税額の平均は20代8万1000円、30代14万9000円、

個人事業主(自営業者)の所得400万円の場合		サラリーマンの所得400万円の場合	
収入	400,000	収入	400,000
給与所得控除	35,000	給与所得控除	35,000
所得	365,000	所得	365,000
国民健康保険料	18,000	国民健康保険料	18,000
国民年金料	10,000	国民年金料	10,000
住民税	22,000	住民税	22,000
合計	60,000	合計	60,000
可処分所得	305,000	可処分所得	305,000

詳細は<http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gian.html>

会社員と自営業者の可処分所得は

## 道徳の教科化

### 評価はできるのか



桜井洋子 議員

**Q** 来年4月から小学校で、「特別の教科 道徳」が始まる。検定教科書を使って徳目を教え、価値観の押しつけによって、子ども

の個々の内面の自由が侵されるのではないかと危惧するがどうか。

**A** 授業において、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を目指す。議論する中で、自分なりの徳目を深める。

**Q** 他の教科と違って、評価はどのように行われるのか。

**A** ほかの児童・生徒との比較や数値ではなく、児童・生徒がいかに成長したかを認め励ます記述による個人内評価になる。

## 高校生の医療費無料化を

**Q** 子育て支援の重要施策として、県内では子どもの医療費の無料化が進んできている。市において、自己負担をなくし、中学生

まで無料化するには、あとのどのくらいの費用が必要か。

**A** 平成28年度では、通院・入院合わせて無料化するためには、さらに約6950万円が必要だ。

**Q** 焼津市をはじめ、高校生まで無料を進める自治体が増えていく。島田市でも実施すべき。

**A** 高校生までとすると、現在のところ、国、県からの補助が受けられず、すべて市の負担となるため、実施は難しい。



市内の小学校で使われる道徳教科書

## 急ぐべき

### 子どもの貧困対策



やぎのぶお 議員

**Q** 総務省の調査では、子どもの6人に一人が貧困と言われているが、就学援助を受けている子ども

の割合は少ない。制度から漏れた子どもがいるのではないかと援助申請がない子どもでも学校の先生などの助言を受け、援助をするケースもある。

**Q** 今回、近隣市に先駆け「子どもの貧困に関する調査」事業を実施することは評価する。調査結果を受けての対策は何か。高校・大学進学も含め担当課や学校現場など連携してほしい。

**A** 貧困家庭と行政間のつながりや学習支援の居場所づくり、子ども食堂などの支援をしていく。

し、市民会館ホールの利用率は低い。検討が必要と思うがどうか。

**A** ホールを利用する方たちは、焼津や藤枝の施設を利用して利用している方が多いと聞く。

**Q** ぴ〜ファイブ階の音楽施設建設が無駄になる。「おおるり」等の活用や広域での対応など、施設の集約をすべきだ。

**A** 財政負担を抑えることを前提に施設の利用状況を調査する。

## 市民会館の建設は慎重に

**Q** 市庁舎と市民会館を併設するかのような発言があった。市庁舎の建設は大地震などの災害対策、また、有利な財源の合併特例債の期限内に建設すべきだ。しか



老朽化している市庁舎

## 初倉・六合に 期日前投票所開設を



いとう たかし  
伊藤 孝 議員

**Q** 期日前投票率の10パーセント未満が8投票所あり、初倉地区・六合地区のそれぞれ3カ所が10パーセント未満である。期日前投票率が低いのは、期日前投票所までの距離が非常に離れていることが原因だと思うがどうか。

**A** 期日前投票所での投票率の高い地区は、当日投票率が低い傾向にある。逆に、期日前投票所の投票率が低い地区は、当日投票率が高い場合があると感じている。

**Q** 当日と期日前投票を足した率は、期日前投票率が低い地区が低くなっている。期日前投票者が1割を超えている状況で、期日前投票を容易にすることが全体の投票率向上につながるかと考える。初倉地区と六合地区に期日前投票所の開設はできないか。

**A** お金も人的な配置も必要になり、いたずらに増やすことはなかなか難しい。

**Q** 初倉はこの日、六合はこの日、金谷はこの日、川根はこの日というような形で分散して開設する考えはないか。

**A** ほかの地区で開設する場合、現状の期日前投票所を含め再編という考え方がありとされている。現状のように固定して開設するだけでなく、地区ごとに開設日を設けるなどして弾力的に考えることも一案だと思ってる。

当日投票所名	当日 有権者数	期日前投票者			当日+期日前投票者			会館までの距離
		投票者数	投票率	順位	投票者数	投票率	順位	
金谷小学校	3,145	681	21.65%	4	2,068	65.76%	15	5.10
金谷東会館	2,860	497	17.38%	7	1,839	64.30%	17	4.10
金谷南地域交流センター	2,260	291	12.88%	17	1,444	63.89%	18	5.30
牧の原地区コミュニティ	937	96	10.25%	22	552	58.91%	28	8.70
六合公民館	3,556	353	9.93%	23	2,207	62.06%	24	3.50
菊川の里会館	540	53	9.81%	24	344	63.70%	19	10.20
六合東小学校	5,262	504	9.58%	25	3,198	60.78%	26	4.70
鳥田工業高校	3,757	310	8.25%	26	2,384	63.45%	21	2.70
初倉公民館	5,168	408	7.89%	27	3,042	58.86%	29	6.20
伊久美小学校	431	34	7.89%	28	308	71.46%	8	19.00
初倉南小学校	4,385	310	7.07%	29	2,663	60.73%	27	7.30
初倉西部ふれあいセンター	917	63	6.87%	30	622	67.83%	11	7.50

詳細は <http://www.city.shimada.shizuoka.jp/gikai/gian.html>

平成29年「島田市議会議員選挙」投票結果

## 幼児期からの 運動不足解消のために



やまもと たかお  
山本孝夫 議員

**Q** 子どもの体力テストの結果を見ると全国的にひと昔前に比べ低下している。日本体育協会ではアクティブチャイルドプログラム(ACP)という幼児期からの遊びを通じて体力向上施策の取り組みをしている。島田市でも何か活動をしているか。

**A** 今年度も11月にスポーツ少年団等の活動でACPに関わる講演会が予定されている。

**Q** 島田市は待機児童減少の施策ばかりでなく質についても考えACPの活用も考えたらどうか。

**A** 提案はよく理解できる。

## 金谷二施設の今後は？

**Q** 旧金谷中学校跡地活用事業で県職員を含めた選定委員会で相手先を審査するが、優先的交渉権者は誰が決めるのか。

**A** 土地所有者である島田市として島田市長が決定をする。

**Q** 賑わい交流拠点整備事業の売り

**A** 上げ目標は幾らか。

**A** マルシェで約20億円、レストラン等で約5億円としている。

**Q** 新しい特産物の取り組みについて具体的に何かあるか。

**A** まだ出てきていない。

**Q** この事業が稼ぐ力の施設となるため事業設計者と運営事業者が一本筋が通っているものにすべきではないか。

**A** 来年度の実施設設計の中で両者とすり合わせできると考える。



日本体育協会が進めているACP冊子

## 保育士の処遇改善 障がい者の居場所



おおむらやすし 大村泰史 議員

**Q** 保育士の勤務実態はどうか。

**A** 市内の民間保育園と認定こども園では平均勤務年数5年以下が約54パーセントと大半を占めている。

**Q** 保育士の処遇改善に対する取り組みはどうか。

**A** 子ども・子育て支援新制度において国が算定する給与引き上げ分を民間保育園等へ給付費として支給しているが、市独自の給与の上乗せはしていない。

**Q** 潜在保育士の状況はどうか。

**A** 静岡県でも潜在保育士の正確な数は把握していない。

**Q** 潜在保育士の雇用対策としての取り組みはどうか。

**A** 今年度から潜在保育士職場復帰支援セミナーを開催している。

**Q** 障がい者の通所施設以外の居場所確保の取り組み状況はどうか。

**A** 障害のある児童については国の制度として放課後等デイサービスがあるが、特別支援学校高等部卒業後、生活介護施設などの

終了後に通所できる障害福祉サービスは現在はない。

## 鳥獣・耕作放棄地対策

**Q** 取り組み状況・対策はどうか。

**A** 地域の猟友会に捕獲業務を委託している。

農業委員会での農地パトロールにより耕作放棄の現状把握に努め所有者へは耕作再開や草刈り等の実施を指導している。



鳥獣対策。罠で捕獲を試みてはいるが

## 金谷インター周辺開発 成功の力ギ



さの よしはる 佐野義晴 議員

**Q** 新東名島田金谷IC周辺賑わい・交流拠点整備計画の詳細を伺う。

**A** 敷地は84ヘクタール。平成31年度中に4者連携(島田市、大井川農協、NEXCO中日本、大井川鐵道)でマルシェを建設。企業誘致も進める。

**Q** 各事業別の事業費、4者の出资比例、責任分界点を伺う。

**A** 事業費や負担割合はこれから試算する。市の課題として人材不足のリスクがある。

**Q** マルシェの全体像を伺う。

**A** 年間来客数140万人、総売り上げ20億円、内、地元農産物10億円(一人750円購入予想)。

**Q** 2年後の開設に合わせた農産物の生産や供給体制、例えば圃場整備、温室施設、生産者の育成、農家が進んで出品するための体制等の取り組み状況を伺う。

**A** 生産体制の確立はこれから。企業誘致の現況を伺う。

**A** 現在十数社と交渉中。半数が市

内業者である。

**Q** 他市では、こうした大事業を計画する場合、事前に土地の公示価格や税収増等の目標値を持って進める。試算値を伺う。

**A** これから試算する。

**Q** 事業化に当たって、市民が得る恩恵や市内業者が潤う仕組みづくりを伺う。

**A** 地元企業への資材調達率や工事発注等に考慮し地元貢献する。



新東名島田金谷IC周辺基本計画図

## 小・中学校 普通教室での暑さ対策は



かわむらほる お  
河村晴夫 議員

**Q** 全国公立小・中学校における普通教室空調設備の普及率は、今年の4月1日で49・6パーセント。この結果をどう考えているのか伺う。

**A** 静岡県で空調設備の設置が遅れている理由は、想定される東海地震に向け、児童・生徒および教職員の安全を確保するため、耐震補強等の対策を優先してきたことが主な要因である。普及率の上昇については、児童・生徒の健康面への配慮をするという傾向の高まりである。島田市は1パーセントと低い状況である。

**Q** 熱中症対策として空調機の導入は検討していないのか。また、予算額を伺う。

**A** 安心して教育を受けるよう教育環境の構築に向け、空調設備の導入は他の施設修繕等とともに総合的に検討していく。空調設備が10億円、毎年電気代が1億6000万円相当発生する。

**Q** 空調設備の購入は高額となるが、必要性を伺う。

**A** 生徒の健康上の問題や、生理的にも心理的にも大変な負担になっていると理解している。

## 廃棄物手数料の再計算

**Q** 田代環境プラザの廃棄物手数料の再計算を伺う。

**A** 16年目以降の手数料は、管理運営費、搬入量の見込みにより再計算していく。

公立小中学校の空調(空調)設備設置状況の推移  
(平成10年度～平成29年度)

	H10.7	H13.6	H16.6	H19.7	H22.10	H26.4	H29.4
全国平均	10.7	13.6	16.6	19.7	22.10	26.4	29.4
普通教室	3.7%	4.5%	6.2%	10.2%	16.0%	32.8%	49.6%
特別教室	11.4%	14.0%	17.3%	21.0%	21.6%	27.3%	34.6%
合計	6.6%	9.8%	11.5%	15.3%	19.9%	29.9%	41.7%

	H10.7	H13.6	H16.6	H19.7	H22.10	H26.4	H29.4
静岡県平均	10.7	13.6	16.6	19.7	22.10	26.4	29.4
普通教室						7.8%	7.8%

文部科学省報道発表より

全国・静岡県の空調設置率の違い

## 自治基本条例は 島田市に必要なか?



そねよしあき  
曾根嘉明 議員

**Q** 自治基本条例は、島田市の最上位の条例ではないと解釈して良いか。

**A** 条例に優劣はないと考えている。市長は、就任以来「協働のまちづくり」を実践しているが、あえて自治基本条例をつくらなければ市政運営ができないか。

**Q** 市の進むべき方向性を示し、市民・議会・行政の責務・役割を明確にして、条例で見える化していきたい。

**A** 市の進むべき方向性を示し、市民・議会・行政の責務・役割を明確にして、条例で見える化していきたい。

**Q** 市民と共に総合計画を実行に移していけば、将来の島田市が描かれるのではないか。全く将来像が見えない。条文だけの条例を策定しなくても、進むべき方向性が出るのではないか。

**A** 具体的な事業内容を示す総合計画とは性質が異なるものと考えられる。自治基本条例は計画よりも法規範のある、条例で別に規定するほうが適切と考える。

**Q** 住民投票にかかる費用はどの程度か。



市民協働のまちづくりによるふれ合い事業

**A** 市長・市議会議員選挙に準じ、投票所を設け、期日前投票を想定した場合、概算で3700万円程度の費用が必要と考える。

**Q** 住民投票には、公職選挙法のよくなルールはあるか。結果についての法的拘束力はどうか。

**A** 事前運動に関する何らかのルールは考えていく。法的拘束力はない。これを尊重し施策の実施について判断していく。

## 新市民会館の建設は 市民協働で！



もり しんいち 議員  
森 伸一

**Q** 市役所周辺整備検討委員会での議論・検討の状況はどうか。

**A** 今後庁舎と市民会館について整備を前提に進めるかはPFI調査の中間報告を待つて決めたい。

**Q** 市民会館が建設された後に必要と思える文化振興マスタープラン策定作業の進捗状況はどうか。

**A** 組織づくりや進め方等について文化施設運営協議会で検討予定。

**Q** 市庁舎、市民会館の整備については市民を交えた検討・議論が必要だと思うが、当局の考えは。

**A** 基本構想、基本計画を立ち上げる初期段階では、市民ワークショップの形式により、多様な意見、提案を聴取していきたい。

**Q** 新市民会館の建設による市内の経済効果についてどう考えるか。

**A** にぎわい創出の拠点となり計画段階で周辺の事業者、飲食業者等との連携について検討したい。

**Q** 市庁舎機能は災害時における緊急対応拠点という話があった。市民会館と合築（近接整備）す

れば、共通スペースの効率的な利用ができると思うがどうか。

**A** 効率的な利用に寄与する形だ。可児市文化創造センター<sup>（仮称）</sup>衛生館長は講演の中で、市民会館は個人の趣味の場ではなく、全ての市民のための出会い、支え合いの場と述べていたが市長の感想は。

**A** 同感である。建設後の運営についても市民が関与していくという盛り上がりも期待したい。



「市民会館は人間の家である」衛館長講演会

## 小学校を取り巻く 環境改善を！



よこやまかおり 議員  
横山香理

**Q** 学校教育支援員は5時間勤務のため午後不在のときがある。延長を望む声があるがどうか。

**A** 人数を増やすのか、時間を増やすのか要望を聞きながら考えている。

**Q** 特別支援コーディネーターはなぜ兼任か。負担を平等にできないか。

**A** 時間・力量ともにあわせ持っている教務主任が担当するのが一番適任と考える。

**Q** 教員が作成している個別指導計画を臨床心理士等が立てるのは難しいか。

**A** 細かい支援計画はやはり担任の力を借りざるを得ない。

**Q** 乳幼児からのつながった情報が1冊にまとまっているサポートファイルについてどのように考えているか。

**A** 子どもの情報を共有するツールとして検討を進めている。お子様の発達や受診状況などの記録をつづることができるものを考

えている。

### 「しずおか寺子屋」とは

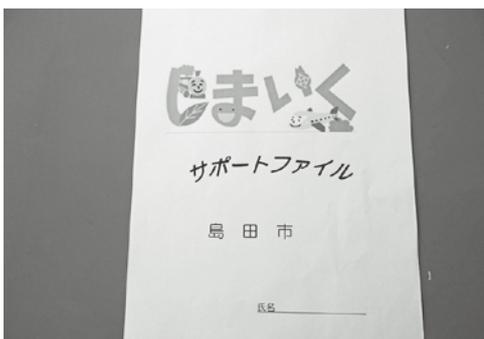
**Q** 目的は何か。

**A** 少・中学生の学習支援事業。地域の教育力を活用して学習を支援する。

**Q** どの地区をモデルとしているか。

**A** 初倉小学校を実施指定校とした。週何回か。また何年行うか。

**A** 毎週水曜日。3年間実施予定。



しまいくサポートファイル表紙（案）

## 賑わい交流拠点施設

### 計画は明確に



しみずただし 議員  
清水唯史

**Q** 賑わい交流拠点施設の整備内容をいつ発表するか伺う。

**A** 施設の配置やデザイン、集客収支計画、各施設の運営方法などを含めた実施計画を運営会社設立と合わせて、今年度末までに策定し報告したい。

**Q** 周辺地域への経済波及効果をどのように考えているか伺う。

**A** 農産物の六次産業化による新商品の開発、大井川鐵道を軸とした観光産業、観光農園・茶業体験・見学ツアーなどの地域の経済波及効果が考えられる。

**Q** 周辺の道路整備を伺う。

**A** 国道473号線の4車線化による高速道路下の駐車場への不便性、周辺道路の狭隘箇所きせいのうまの解消など、静岡県と協議していく。

### 自治基本条例は誰のため

**Q** 市民自らが求めるものとして自治基本条例は制定されるものかあると思うが、制定の根拠を伺う。



賑わい交流拠点建設予定地

**A** 市長選挙において、市民協働のまちづくりの必要性を市民が渴望していることを感じた。

**Q** パブリックコメント以外に市民の意見聴取、事前説明の機会はあるか伺う。

**A** 議会での議決後、説明会を開催するが、パブリックコメント以外の意見聴取や、事前の説明会は予定していない。

### 意見書を採択しました

地方議会は、その自治体の公益に関することについて、国会または関係行政機関に意見書を提出することができます。

9月定例会では、次の1件の意見書を全会一致で可決し、国会および関係行政機関に提出しました。

#### 道路整備予算の拡充及び道路整備に係る

#### 補助率等の嵩上げ措置の継続を求める意見書

国道1号島田金谷バイパスおよび国道1号藤枝バイパスの4車線化など、道路整備を推進するため、「道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の規定による補助率等の嵩上げ措置について、平成30年度以降も現行制度を継続とさらなる拡充等の措置を講じること。」

※これは意見書を要約です。提出した意見書全文は、市議会のホームページまたは市役所の情報公開コーナーでご覧ください。



# ザッ 討論



市議会定例会最終日に行われる議案採決の前に、賛成・反対の意見を表明する「討論」を行います。  
9月定例会では、2議案について延べ4人の議員が賛成・反対の意見を表明し討論を行いました。

## 【認定第1号】平成28年度島田市一般会計決算の認定について

### 反対

①かわね保育園の民営化の準備として、保護者を交えた詳細協議や引き継ぎ保育を実施した。移管先に引き継ぐ保育士が、20人中2人しか残留しなかったことは問題だ。保護者や子どもたちに大きな不安を与えた。②民営化を見据えた現業職員の退職不補充、臨時・嘱託職員が4割を占める非正規化は問題だ。公務労働の質を高め、正規職員を増やすべきだ。③高齢者の増加を理由に、敬老祝金の支給対象者を減らしたことは問題だ。次年度の敬老会への補助金減額に続くもので、きちんと手当すべきだ。

### 賛成

昨年度決算額は、歳入が約372億円、歳出が約353億円で差引額は約19億円、実質収支額は約17億円である。予算は適性かつ効率的に執行されており、当年度の各事業が成果を挙げたことについて評価すべきものとする。市民福祉のさらなる向上を図り、財政運営の効率性と健全性を旨とし、市民本位の質の高い行政サービスの提供に努めたものであり、一般会計決算の認定に賛成する。

## 【認定第9号】平成28年度島田市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について

### 反対

医療費の増加を理由に、後期高齢者医療保険料を引き上げたもとの決算は容認できない。保険料の所得割率を7.57%から7.85%に、均等割額を3万8,500円から3万9,500円に引き上げた。収入80万円の基礎年金受給者から現役並みの所得者まですべての階層で負担増になった。少ない年金で生活は限界だ。75歳以上が強制加入で、高齢者が増え医療費がかかれば、際限なく保険料が引き上がる仕組みだ。問題だらけの差別的制度は速やかに廃止し、元の老人保険制度に戻すべきだ。

### 賛成

後期高齢者医療制度では窓口で支払う自己負担金を除く保険給付費に対して負担割合を明確化し、高齢者に高額な負担をさせない配慮がされており、世代間の相互扶助が計られている。平成28年度は保険料が引き上げられたが、所定の負担割合に基づき算定されたもので高齢者に過度な負担を強いるものではない。平成28年度の決算は特に問題点はないと考える。

## 【採決結果一覧】賛成・反対が分かれた2議案を掲載しています

氏名	大村 泰史	河村 晴夫	齊藤 和人	横山 香理	伊藤 孝	森 伸一	山本 孝夫	藤本 善男	八木 伸雄	清水 唯史	村田 千鶴子	曾根 嘉明	平松 吉祝	大関 衣世	横田 川真人	杉野 直樹	桜井 洋子	佐野 義晴	大石 節雄	〇=賛成 ×=反対	
																				会派名	
	きょうどう島田							創造島田			さきがけ島田		無会派								
【認定第1号】 平成28年度島田市一般会計決算の認定について	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	〇	〇		
【議案第9号】 平成28年度島田市後期高齢者医療事業特別会計決算の認定について	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	×	〇	〇		

※議長（福田正男）は採決には加わりません。（並び順会派ごとの議席順）

※「無会派」とは、会派に属さない議員のことです。

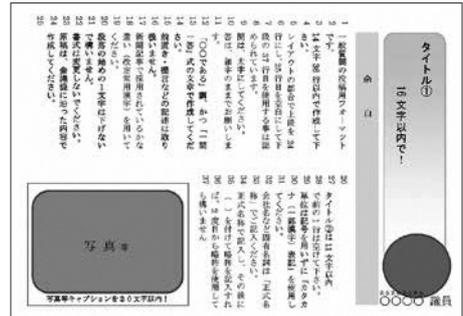
# 山梨県上野原市議会・奈良県天理市議会が『しまだ議会だより』の視察で来島

上野原市議会議会だより編集常任委員会 <sup>ひがしやまひろあき</sup> 東山洋昭委員長をはじめ6人の議員の皆さんと8月8日に、天理市議会 議会広報編集委員会 <sup>いいたかすお</sup> 飯田和男委員長をはじめ6人の議員の皆さんと10月20日に当市議会だよりの『紙面リニューアルと編集の方法』について研修・意見交換を行いました。

当市議会だよりの『表紙と1・2ページ目を常任委員会の持ち回りで担当する点』『一般質問ページの投稿用Wordフォーマット』『余白を多くして読みやすい紙面づくり』について、『手本にしたい』と高い評価をいただきました。

平成28年2月15日発行52号からリニューアルを始め、昨年後半から視察の申し込みが来るようになり、今年度も複数の自治体から問い合わせをいただいています。

『全国的に評価されるような議会だよりとなってきた?』と委員一同喜んでいきます。今後も、ますます読みやすい紙面づくりに力を入れていきたいと思っておりますので、皆さまのご意見をお寄せください。



一般質問ページの投稿用Wordフォーマット

## 上野原市議会



表紙



1ページ目



一般質問

## 天理市議会



表紙



1ページ目



一般質問

## 大規模工場火災 防衛活動訓練を見学

9月25日（月）、特種東海製紙株式会社旧横井工場で行われた訓練を見学しました。訓練の見学には、地域の方や幼稚園児も参集しました。消防救急広域化区域の全ての消防署が参加し、大型放水車、大容量送水ポンプ車、プロアー車など、最新の消防車両を駆使しての本番さながらの消火活動の迫力に、見学者全員が圧倒されました。安心・安全なまちづくりに広域消防体制への期待は高まります。



高所放水車による消火活動



機敏な動作で訓練に臨む隊員

## 静岡地域消防広域化の 成果について説明を受けました！

平成28年度からスタートした消防広域化の成果について、静岡市消防局職員から広域化に伴うスケールメリット等により市民の安心・安全が確保されていることを具体的な活動（出動）事例などで説明を受けました。



広域化成果説明会

# 島田市議会におけるICT機器の使用開始

島田市議会では、会議における情報通信機器の積極的な活用によるペーパーレス会議等の実施を目指しています。

情報通信機器導入の前段階として、個人所有の情報通信機器を議会の会議で使用できるようにしました。

使用するにあたり『島田市議会における情報通信機器の使用基準』を作成しました。パソコン(タブレット端末含む)やスマートフォン等を会議で使用できることとした同使用基準の検証のため、11月定例会から試行で運用を行います。

傍聴やネット放映をご覧いただき、ご意見をお寄せください。



## 編集後記

9月定例会は、18人の議員が一般質問に登壇し、市政に対するさまざまな質問等が活発に議論されました。また、今回は平成28年度の決算の認定について、昨年度の事業の振り返りと予算の使い方について検証しました。それらの内容を「読みやすく、わかりやすく、親しみやすく」をモットーに編集いたしましたが、いかがでしょうか。最近になり、いくつかの自治体からの視察を受けるようになりました。さらに研さんを積んでまいります。



### 議会だより編集に関する特別委員会

- 【委員長】 桜井 洋子
- 【副委員長】 伊藤 孝
- 【委員】 大関 衣世 河村 晴夫 齊藤 和人 大石 節雄

## 11月市議会定例会傍聴のお知らせ



**議会を聴きに行こう！議会をオンラインで見よう！**  
傍聴をご希望の方は、議会開催日に市議会議場(市役所3階)へお越しください。

日	月	火	水	木	金	土
11/19	20	21	22 議会運営委員会 本会議 (初日)	23	24	25
26	27	28	29	30	12/1 本会議 (一般質問)	2
3	4 本会議 (一般質問)	5 本会議 (一般質問)	6 本会議 (議案質疑)	7 常任委員会 (厚生教育 経済建設)	8 常任委員会 (総務生活 (予備))	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19 議会運営委員会 本会議 (最終日)	20	21	22	23

☆開会時間は…  
本会議 9:30 常任委員会 9:30・13:30

**あなたのパソコン・スマホ等で、オンラインでも傍聴できます。**  
水色のラインで示された日には、インターネットでの生中継を行います。